琉球
勝気
兄嫁は
欲求不満
押しに弱くて♥

琉球勝気兄嫁は欲求不満

押しに弱くて♥

沖縄で民宿を
開業した兄貴の
招待で現地に家族で
向かうことになった――

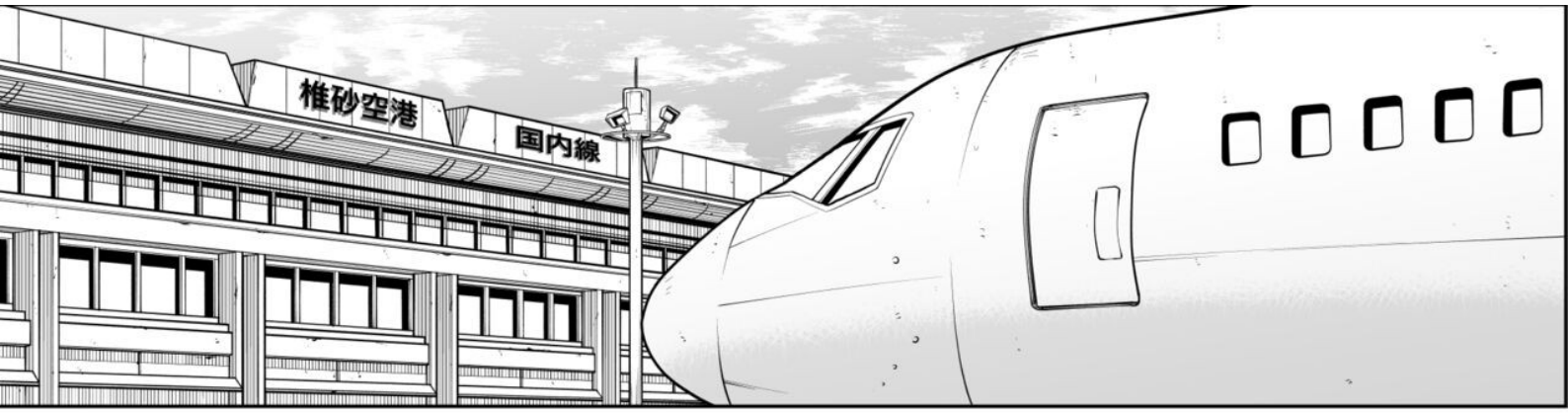
ただの旅行なら
興味なかったのだが

足を運ぶ理由が
ひとつあった――

喜屋武穂神（きゃんほがみ）

兄貴が現地で
知り合って
結婚した嫁さん

仕事人間の兄の
どこに惹かれたの
わからないが
穂上さんの一目惚れ
だったらしい――


椎砂空港
国内線

あっ！
お義母さん！
こっちこっち!!

やっぱ
めっちゃ好みだ…
久しぶりです！
穂神ちゃんも
元気そうで
よかった！
マジで
兄貴には
もったいねぇな…

バス
Bus
冬真も
遠いところ
ありがとね！
かりゆし
似合ってるじゃん！
いえいえ
義姉さんの
為ならお安い
ご用ですよ！
ガシッ!!
あはは！
相変わらず
調子いいね！
ここにいる間は
全力でおもてなし
してあげるから
覚悟してなよ！
うっス！

ふぅ…まあ
たしかに
イイところだ…
ごぼんっ…
独学でここまで
できれば
充分すげぇや…

それに比べて
俺は…おっと
ぶるんっ
ははは…一日中
義姉さんの
近くにいたから
荒ぶってら

ぶるんっ
ここでヌいても
仕方ねぇし…
ビンッ
ビンッ
湯冷ましがてら
ぶらぶらするか…
ぱさっ

ここは…離れか？
ザッ
明かりがついてる…みんな母屋にいるんじゃ…？
ザッ
――ッ♡
…っ♡
声…？
ちらっ
――ッ!?
びくっ♡
ぴくっ♡
んっ♡
びくんっ♡
んんっ♡
ぞくっ♡
ぞくっ♡
レちゅっ♡
義姉さん!?おいおい…マジかよ
にやっ…
はっ♡
はっ♡
レちゅっ♡
レちゅっ♡
レちゅっ♡

んっ…春明…っ♥
あっ♡
くりっ
くりゅっ
くりっ
んっ♡
あっ♡
どくっ♥
どくっ♥
どくんっ♥
はっ♡
あっ♡
どくっ♥
どくんっ♥
おちんぽ…っ
ほしいっ…♡
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
あっ…だめっ
イく…っ♥
イっ♥イっ♥

はっ♥はぁ…♥
また…
やっちゃった…
春明…
忙しいのは
わかってるけど…
――ッ!?

いやぁ…
すみません
明かりが気になって
覗いてみたら…
冬真――ッ!?
ドキッ
あっ…そのっ
これは
ちがうっ…
ドキッ
ちょっと
まちがえてッ
ドキッ

うんうん
それで…?
つか…
その…
だから…っ
つか…
義姉さん…
もしかして兄貴と
シてないんすか?
つか…
な…に言って
――えっ!?
ドキッ♥

え…？
これ…冬真の
おちん…ぽ!?
ビキキッ
おわっ
ドキッ♡
でも大きさが
春明と
全然違う…っ
ドキッ♡
兄弟で
こんなに差が
あるものなの…!?

ニヤ
どうかしました
義姉さん…？
ソコになにか
気になるモノでも？
ニヤ
ニヤ
ばっ
んッ!!ううんっ
全然っ何にもッ！
それより…その
そろそろ出て
もらっていいか…？
あ…あはは
スンマセン…
失礼しました――

――なんて
きゃっ!?
そりゃないでしょ義姉さん
――ていうかいいんすか？このまま帰っても？
離れでこそこそオナった後に人のちんぽガン見されちゃあ…
これで何もしなかったら逆に失礼っすよ
ちがッ…見てなっ
きゅんっ♡
――ッ!!

いい加減にしてっ
戻らないと春明と
お義母さんたちが…
ハァハァ…
兄貴は潰れて
寝ちゃってるし
お袋は親父の面倒で
部屋に戻ってる
だからって…
どうせ数日後には
いなくなるんだぜ…？
気にならない？
この中…
ちくっ
くっ…
すっ…
あ…ああっ
どうぞ…
義姉さんの好きな
ようにしてくれて
いいっすよ？

冬真のおちんぽ…♥
ごめん…春明…
もう一人で
慰めるのは…限界
ぼろんっ♥
そんな遠慮せず
これが見たかった
んすよね？
あっ♥
むわっ♥
ハハ…まさか
こんなチャンスが
巡ってくるなんてな
すぅ――…っ♥
どくっ♥
どくっ♥
どくっ♥
自業自得だぜ
兄貴…
ここにいる間は
存分に義姉さんの体…
楽しませてもらうぜ
いやぁ…ずっと
義姉さんの体
見せつけられ
てたから
ちんこ半勃ち
ばなしっすよ
えっ!?

これで半分…
完全に勃ったらどうなるの…
見たい…勃たせたい…♥
おっ！ねっとりフェラ…
義姉さんの口のなか熱ぅ…
久しぶりのおちんぽの臭い♥
冬真の雄の臭いむせるくらい濃い♥
頭ぼーっとしてくらくらする♥

んっ♡
ビキッ
ビキッ♡
はっ…あ♡
どこっ♡
ちゅぽっ♡
んんっ♡
どこっ♡
はっ♡
あっ♡
なかなか
上手いっすね
れろぉ〜〜〜〜…♡
あっ♡
はっ♡
それじゃ
義姉さん立って
もらえます？
ぴたっ♡
ぴたっ♡
これが冬真の
本気おちんぽ…♥
こんなの
入れられたら…
あっ…♡
きゅんっ♡

へへっ…義姉さん
タッパあるから
丁度いいっすね！
あっ♥
ドキンッ♥
それじゃ
入れるっすよ
まんこに集中
してくださいね
つつっ…♥
ズリッ♥
なにこれ…
こんな所まで
届いちゃうの!?
ズリッ♥
ズリッ♥
ドキッ♥
指でも春明でも
届かなかった
ところに…♥
きゅんっ♥
ほらっ
腰突き出して
亀頭がまんこの
入り口に
着いたぜ…
ぴくっ♥
ぴくっ♥
まん肉掻き分けて
子宮まで行くぞ…
ぴくっ♥
ぴくっ♥
ずぼっ♥
ずぼっ♥
ずぼっ♥

そして一気にッ！
おっ!!
うっ…義姉さんのなかキツいっすね…
こんな極上の体使わないなんて兄貴のやつ…
はっ♥
ぶるっ♥
はっ♥
はっ♥
んっ♥あっ♥ちがっ…春明は開業にむけて一生懸命で…っ
あっ♥奥っとどいてっ♥
ぶるっ♥
ぶるっ♥
ぶるっ♥
ぶるっ♥
あっ♥
あっ♥
はっ♥はっ♥うそ…子宮押しつぶされてるッ
ぐりっ♥
ぐりっ♥
ぐりっ♥
ずんっ♥
それは理由にはならないな義姉さん…
ぶるっ♥
ぶるっ♥
魅力的な女に欲情するのは男の義務だぜ？
ドキッ♥
——ッ!!

だって義姉さんのまんこはこんなにちんぽ欲しがってるじゃないスか
そんな…ことっんあぁっ♥
ぢゅっ♥
ぢゅっ♥
ぢゅ

奥が反応いいっスねー
ここまで届くの初めて？これじゃ今までもどかしかったっしょ
ひと突きするたび膣壁うねって締め付けエグい
義姉さんっもうちょい落ちついて…
そんな…こと言われてもっからだ…勝手にっ♥
はははっ俺のちんぽ気に入ってもらえたみたいでなによりだ
んっ♥やっ…あっ！違っ…ああッ♥

うおっ…義姉さん
膣壁が蠢いて――ッ
はっ♡
ぱんっ♡
んあっ♥
も…だめっ
ぱんっ♡
冬真のちんぽ
スゴすぎて…っ
イっちゃぁ――♥
ぱんっ♡
ビクッ♡
おぎゅっ♥
ぐりゅりっ♡
あっ♡
はっ♡
なっ…あっ♥
なん…でっ
腰っ…とまんないっ♥
だめ…なのにっ
あんっ♥
あっ♥
ぐりゅりっ♡
あぁっ♥
ビクッ♡
くっ…こっちも
出ちまうッ
ぐりゅりっ♡
ぐるっ…♡
ぐるっ♡
はっ♥あっあ♥
なかは…ダメっ――

ビクッ♥
んあぁっ♥
ビクンッ♥
あっ♥
あぁっ♥
ぼたっ♥
ぼたっ♥
はっ♥
ぼたっ♥
ああ…すごい濃い…っ♥
どろ～…♥
どろ～…♥
はっ♥
あついのっ♥かかってるっ♥
はっ♥
残りの日もたっぷり愉しませてあげますよ義姉さん…
あ…っ♥

翌日――

はよーす
あ 義姉さん
仕込みっスか？
どきっ…
冬真っ…

冬真
やっと起きたか
ガサッ
はよー兄貴
ちょっと仕込み
見せてもらうぜ
ああ…邪魔しない
ようにな

ってことで
義姉さん
失礼するっス
ちょっ
何考えてるの!?
春明がいるのにッ！
――!?
ビクンッ♡
ビクンッ♡

ああ…大丈夫
兄貴は新聞
読む時は終わるまで
何も耳に
入らないから
…っん♥
ばかっ…あ♥
はっ
すりっ
すりっ
すりっ
あっ♡だめっ♡
ソコッ…んんっ♡
どくっ
どくっ
んっ♥
だからってー
もぞっ
っても
義姉さんの声
デカいからなぁ
なに言ってん
のボッ
ビッ♥
ぬるんっ♡
ははっ
相変わらず
イイ声っスね

ん…？
どうした？
ドキッ
うっうぅん！
ちょっと手が
滑っただけっ！
あせっ…
そうか
俺も見てるから
大丈夫だぜ
兄貴！
おっ♥んぅ♥
お尻っ…だめっ
弱いのっ♥♥
ぷっ
コスッ
だからっ…んっ♥
いい加減にっ♥
ぷっ…
くちゅ
くちゅっ
くちゅ
くくっ…ちょっと
ヤバかったな
にちゅ♥
でも…
義姉さんの中
さっきより
締まってるぜ？
にちっ♥
にちゅ♥

はっ♥んっ♥
これは…ちがっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐりゅっ♥
ぐりゅっ♥
あっ♥
まっ…て♥
はいはい
そうっスね
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
これ以上はっ
あっ♥やめっ…
やっ…だめっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅっ♥
ぐちゅ

おおっ
すげっ！
すぽっ
ぴちょっ
んじゃ…
義姉さん仕込み
頑張って
ドキッ
えっ!?

とんっ…♡
〜〜〜っ
ぃ——…♡
とん…っ♡
とんっ…♡
ぃ——…っ♡
ぎゅ♡
きゃうんっ♡
春明…
ごめん…

くくっ…
なんスか？
なにか期待
しちゃってました？
——ッ

あははっ！
それじゃ俺は
部屋でゆっくり
させてもらいます
……っ

コンコン
どうぞー
ガチャ
仕込みは…
済んだ
きゅっ…
あれ？義姉さん
どうしたんスか？
仕込みは
もういいんスか？
へー…さすが
それで俺になにか
用っスか？
ちゅっ
――ッ！

んっ♡
くちゅっ
くちゅっ
はっ♡
はむっ♡
にゅっ
にゅるっ
んんっ♡
にゅるるっ
んあ…♡
ちゅぽっ
はっ♡
はっ♡
はっ♡
つぅ〜っ♥
いけない事だってわかってる…
最低なコトをしようとしてるってことも…
春明があたしを抱いてくれたのは一度だけ…
どんどん大きくなる体の疼きをなんとか誤魔化してきた
しゅる…っ
けど…もう限界――

あんなことをされて…
もう体の疼きが抑えられないんだ…
冬真の雄臭いデカマラ…♥
あたしにぶち込んでっ♥♥
ばぁ♥
くくっ義姉さんの頼みじゃ断れないな
どきっ
あっ…♡
戻れなくなっても責任とらないっスよ
ぐぐっ…♡
ぴくっ♡
んっ♡
ぴくっ♡
あっ♡

ずんっ♥
んぉっ♡
キたぁ♥
これっ…
欲しかったのっ♥
どくっ♡
はっ♡
どくっ♡
子宮っ…
押し上げられて
体が悦んでるっ♥
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
はっ…あっ♥
冬真っ動いてっ
どくっ♡
はっ♡
ぎゅっ♥
うおっ！
まんこの締め付け
ヤバっ
はっ…ああっ♡
ぎちっ♥
きゅうっ♥
そんじゃ
今度は遠慮
しないからなっ
ずちゅんっ♥
んあっ♡

あっ♥はっ♥
冬真のちんぽっ
すごいっ♥♥
あっ
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥
あっ
あたしのっ
弱いトコ全部
擦ってくるっ♥
ぐぽっ♥
へへっ義姉さんが
俺のちんぽ
気に入ってくれて
嬉しいっス
びくっ
びくっ
あっ
こんなのっ女なら
絶対堕ちる♥
ちゅくっ
ちゅくっ
きゅうんっ
びくっ
ちゅくっ
初めて入れられた
時から肢体(からだ)は
わかってたっ♥
どくっ♡
どくっ♡
ばちゅっ♥
全然ムリ
だったのっ！
どくっ♡
おっ♡おっ♡
おっ♡
ばちゅっ♥
どくっ♡
でも…ダメな
ことだから
気づかないフリ
しようと
したけどッ！
ばちゅっ♥
どくっ♡

俺もサイコーっスよ
兄貴に紹介された時から犯したいと思ってた女が
俺のちんぽで鳴いてるのが見れてっ！
んえっ!?
なん…で今っそんなっこと言われたらっ♥
だめっ…子宮っおりてきちゃっ…あっ♥

あっ♡
はっ…ふぅ
ヤッベ義姉さんの
肢体エロ過ぎて
腰とまんねぇ
子宮口めっちゃ
亀頭に
吸い付いてくる
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡

なっ!?
なかは…
なかはだめっ!
トキッ♡
そんなこと
言っても
義姉さん…
ガッ
ちりっ♡
これじゃ離れ
られないぜ?
きゅんっ♡
きゅんっ♡
へっ…?
やっ…ちがっ
これはっ違う…
ズンッ♡
おーけー
おーけー
義姉さんの
本心はわかって
っから
ずっ♥
あっ♡あっ♡
ずんっ♥
バチクソ濃いの
がっつり射精すぜ
ぐぐっ♡
やっ♡あっ♡
だめえっ♡
ぐぐぐっ♡
ずっ♡

ずぽっ♥
ずぽっ♥
ずぽっ♥
ずぽっ♥
ずぽっ♥
おっ♡
びくっ
んぉっ♡
びくっ♡
あっ♥あっ♥
だめっ…体が
準備しちゃってる
ほっ♡
おぉンッ♡
びくんっ♡
赤ちゃん
作る準備
しちゃってるっ♥
びくっ♡
あっ♥あっ♥
子宮が子種
欲しがってるっ♥
ずっ♥
あっ♡
ずっ♥
あっ♡
ずっ♥
いま中出し
されたら精子から
逃げられないっ♥
びくんっ♡

はっ…あっ♥
なかでおちんぽ
膨らんでるっ♥
ぱこっ♡
ぱこっ♡
ビキッ♥
ビキッ♥
くっ…締まる
精子搾り取る気
満々じゃんっ！
あっ♥
赤ちゃんの部屋に
子種吐き出す
準備してるっ♥
ぱこっ♥
イくぜ
義姉さんっ！
一番奥に
特濃の子種汁
ぶちまけるっ！
ぱこっ♥
ぱこっ♥
あっ♥ああっ♥
精子くるっ
すごいのキちゃうっ♥
イッ♥
イイッ♥

ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぐりゅっ

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
んっ♡ろぅ♡
そこっ♡
はっ♡
そこっ♡
はっ♡
とぷっ♡
あっ♡
とぷっ♡
あっ♡
おっ♡ほっ♡
まだっ
でてるぅ♥
しきゅ…熱い♥
おまんこ…
蕩けてるぅ♥
びゅっ
びゅっびゅる——…っ♡
びゅるぅ——…♡
あっ♡
とぷっ♡
あっ♡

おーおー
最後の一滴まで
吸い付くす
勢いだな
ずるっ…♡
きゅうぅ♡
おっ♡おっ♡
るるる…っ♡
…ふぅ
びくっ♡
おほっ♡
びくんっ♡
ぬぽっ♡
ごぽぉ♡

いやー最高…
義姉さんからの
おもてなし…
愉しかったっすよ…
この肢体(からだ)と
しばらくお別れ
なのが残念だ…
あ…ああ…♥

チュン
チュン
がばっ
はっ…あっ!!
はっ
ドクンッ
はっ
ドクンッ
はっ
は…あっ…
ドクンッ
あの時の事は
記憶がおぼろげで
冬真たちが帰ると
いつもの日常に
もどった…
罪悪感から
あの後すぐに春明を
求めた…けど
体は満たされなかった
ふぁ…
おはよう穂神
むくっ…
おはよう春明…
ガチャ…
はぁ…
早く忘れないと…
おはよっす
義姉さん

――ッ!?
にゃ
にゃ
冬真っ…
どうして!?
ああ…前に
うちに招待してから
経営学びたいって
いうんでな
しばらく住み込みで
世話するから
面倒みてやってくれ
あっ…あ…
とくんっ…♡
そ…んな…
とくんっ…♡
またよろしく
お願いします
きゅうんっ♡
義姉さん…
じゅわっ♡

あとがき

はじめまして、またはお久しぶりです
杜若かなえです。

今回歴代No1クラスにパツパツの
スケジュールで進行しています！
あとがきを書く時間すら危ういのは
初めてかもしれません。

その分、内容はがっつりボリューミーに
出来たと思いますので
お楽しみ頂けたら幸いです！

それでは、これから
二冊目の制作に移ります！
無事発行出来ていたら
またそちらでッ！

2023年12月某日

杜若かなえ　拝

奥付

発行誌
『琉球勝気兄嫁は押しに弱くて欲求不満』
発行日
2023年12月31日(C103・二日目)
連絡
ddd1341@gmail.com

作品の無断転載、複製および無断アップロード厳禁

Unauthorized reproduction, duplication,
and uploading of works is strictly prohibited.